神経内科プログラム

【研修目標・到達目標】

［研修目標］

神経・筋疾患、急性中枢神経疾患（脳血管障害・てんかん・脳炎・各種脳症を含む）に対し診断・必要検査・治療方針を速やかに立案し、看護スタッフ・リハビリテーションスタッフ・医療福祉スタッフと協調してチーム医療が実践できる事を目標にしています。さらに、次世代の医師を教育・指導し、若手医師を人間的に育成でき、研修終了後各医療機関において、臨床研究や教育を支える医師になれる事も目標にしています。

目標達成のために、レジデント A（卒後３年目）は指導医とマンツーマンのペアーを組んで、入院患者を受け持ちます。ベッドサイドティーチング（ＯＪＴ）のみならず、必要に応じ各検査に主治医が同行し実地訓練を行います。退院時には病歴抄録を作成し、指導責任者に提出し検閲を受け、達成状況を確認の上、各レジデントにフィードバックします。

［到達目標］

１）病歴・身体所見・神経学的所見を正しく修得する。
２）失語・失行・失認などの神経心理学、特に大脳高次機能障害症状を理解する。
３）神経学的所見を基にして、病巣部位診断ができる。
４）画像診断を主とした諸検査の適応を判断し、検査技術を修得する。
５）疾患毎の危険因子を把握し、ガイドラインを考慮した正しい対処ができる。
６）リハビリテーションの必要性を理解する。
７）患者及び家族に対して今後の治療方針が呈示できる。
８）各症例の家族背景を考慮し、治療を選択できる。
９）症例をまとめ、研究会・学会で発表する。
10）多施設共同前向き臨床研究や臨床治験を理解し参加できる。

【レジデント A（卒後３年目以降の初年度）カリキュラム】

１）神経・筋疾患の診療技術の習得に加え、幅広く内科疾患の知識の習得を目標とし、実地研修を行います。また高齢化社会に対応できるよう、リハビリや介護などに対する地域医療の実践を行います。
２）症例をまとめる能力を育成するため、研究会・学会で症例発表を行うようにします。
３）指導医と共に初期研修医やクリクラ学生の指導に当たり、自己へのフィードバックを図ります。
４）緊急対応の修練を目的として、定期的に当直業務に当たります。
５）脳神経外科（あるいはSCU）又はリハビリテーション部、精神科神経科、放射線科を希望により３か月間研修できる。または総合診療センターで年間をとおして、月２回外来研修できる。（自由選択）

【レジデント B,C カリキュラム】

１）レジデントAに引き続きレジデントを２年間自動継続できます（レジデントB,C）この期間に日本内科学会認定内科医を取得する事を第一段階の目標としています。さらにカリキュラム修了後に日本神経学会専門医及び日本脳卒中学会認定脳卒中専門医の取得を目標とします。
２）卒後６年以上の臨床研修を終了している事が日本神経学会専門医の受験資格ですので、レジデントA,B,Cを通算して３年間の後期研修を終了するだけでは、資格を得る事ができません。
３）日本神経学会専門医取得のため臨床神経学、神経放射線、神経生理（脳波・筋電図の判読）及

び神経病理（生検神経・筋組織の判読）の研修を行います。脳血管障害、神経変性疾患、神経感染症、脱髄疾患、脳腫瘍、脊髄疾患、末梢神経障害といった各領域における重要な疾患の知識と理解にとどまらず、頭痛やめまいなどのありふれた症状についても広く経験します。

４）入院患者に対しては、一人主治医として診察にあたるだけでなく、レジデント A 及び初期研修医、クリクラ学生の指導・教育に当たり、毎週の症例検討会において臨床評価を受けます。

５）緊急対応の修練を目的として、定期的に当直業務に当たります。

【カンファレンス・症例検討会等】

１）症例検討会：毎週月曜午後（放射線科との合同）

２）主任教授回診：毎週月曜午後（症例検討会終了後）

３）教授回診：毎週木曜午後（ポリクリ学生指導を兼ねる）

４）画像症例検討会：毎週木曜夕方

５）症例発表会（研修医）：第４火曜もしくは木曜夕方

６）ニューロカンファレンス（脳神経外科合同）：第３もしくは４木曜夕方

７）脳卒中カンファレンス（脳神経外科合同）：毎週月か水曜朝

８）ジャーナルクラブ：第３金曜夕方

９）内科合同医局会（内科全体の臨床講義と症例検討会）：第２、４月曜夕方

１０）その他：適時、神経・筋生検、筋電図・神経伝導速度検査、脳波判読会等

【その他】（下線病院は卒後３年目以降の臨床研修として派遣実績のある病院です）

研修病院として、国立病院機構刀根山病院、国立病院機構兵庫中央病院神経内科、大阪府急性期総合医療センター神経内科、市立池田病院神経内科、箕面市立病院神経内科、公立八鹿病院神経内科、宝塚市立病院内科、市立川西病院内科があります。各病院における身分は、卒後３年目以降はレジデント、卒後５年目以降は医員が一般的な身分ですが、施設により採用基準・形態が異なります。院内でのレジデント終了後、上記医療機関に出向する事も可能です。

初期研修（院内、院外での研修を問わず）２年目以降に、兵庫医科大学大学院夜間過程には入学可能です。

【指導医】

主任教授：芳川　浩男　　教授：武田　正中　　准教授：梶山　幸司

准教授：木村　卓　　講師：笠間　周平　　講師：團野　大介

学内講師：渡邊　将平　　助教：山本　麻未

【研修統括者】

教授：武田　正中

【問い合わせ先】

神経内科　医局長：木村　卓

TEL：0798-45-6598